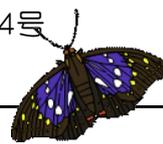


オオムラサキ

富士宮市立富士見小学校学校だより
第4号 令和7年7月1日



学校HP <https://fujinomiya-shizuoka-17fujimi.edumap>

学校教育目標	美しく羽ばたく富士見っ子 ～国蝶 オオムラサキに学ぶ～		
本校で育てたい 資質・能力	変革する力		
	責任ある行動をとる力	対立やジレンマを 克服する力	新たな価値を 創造する力

全校児童数(7月1日現在) 男子192名 女子155名 計347名

国蝶オオムラサキに学ぶ 2 SDGs

校長 山口 佳之



2030年までに持続可能な世界をつくるため、国連が定めた目標が17あります。今回は、その15番目の「緑の豊かさを守ろう」をオオムラサキから考えてみたいと思います。

まずは、様々な蝶がいる中で、どうしてオオムラサキが国蝶として選ばれたのでしょうか。国蝶に指定したのは政府ではなく、日本昆虫学会が独自に国蝶として選んだそうです。「美しさと威厳」「広い分布」「海外でも日本の蝶として有名」などが選ばれた理由と言われています。では、「広い分布」とはどういうことでしょうか。調べてみると、オオムラサキは、北海道から九州まで日本全国に分布していたため、国全体を象徴する蝶としてふさわしいとされました。しかし、私は、こどもの頃からアゲハチョウは見たことがあっても、自然に飛んでいるオオムラサキにお目に掛かったことがありません。富士見小学校の校歌ができた47年前は、この辺りでオオムラサキがたくさん飛んでいたから、「♪大むらさきやひばりまう」の歌詞に詠まれたのかもしれないと思いましたが、当時を知る人は首を横に振ります。当時のこどもたちも「オオムラサキって何?」「見てみたい。」とつぶやいたことから、オオムラサキ飼育が始まったと聞いたので、馴染みのない蝶だったと思われそうです。

◆国蝶オオムラサキなのに準絶滅危惧種に!?

準絶滅危惧種とは、現時点では絶滅の危険性は高くないものの、生息環境の悪化などにより将来的に絶滅危惧種になる可能性があるると判断された種です。オオムラサキの成虫は、クヌギやコナラの樹液を好みます。しかし、幼虫はエノキの葉を食べて大きくなるため、これらの木がたくさんある雑木林が大切です。しかし、都市開発によってどんどん雑木林が減ってきています。富士見小もそんな雑木林を整地して建設され、今では正面玄関前の大エノキだけが当時の面影を残しています。

また、冬になると幼虫はエノキの枯れ葉の下で冬を越します。ところが都市部のエノキの枯れ葉はきれいに掃除されてしまったり、風で飛ばされてしまったり、春に幼虫が活動を再開しようと落ち葉から姿を現しても、そこにエノキの木がないという事態が発生します。こうして、オオムラサキは次第に数を減らしてきたのでしょう。現在の日本は、私たちにとっては住みよい場所ですが、オオムラサキにとっては、生きにくい場所に違いありません。オオムラサキの保護をしている富士見小学校では、SDGsの「15 緑の豊かさを守ろう」の目標を意識していきたいものです。

◇生命のバトンタッチが完了!

オオムラサキ集会では、オオムラサキへの思いを書いた風船を、体育館の天井に向けて浮上させました。しかし、児童オオムラサキ委員会のこどもたちは、今年の成育状況を見て、この後、放蝶できるのではと前向きに考えています。そのために、委員会活動で、新しい卵の数と生まれたばかりの幼虫の数を数える活動を行いました。その結果、卵が約1200個、1齢幼虫が約70頭確認できました。1週間ほどすればもっと増えるはずですが、成虫のオオムラサキの生命も尽きてしまいます。そこで、放蝶集会の計画を急いで立てることになりました。どんな集会ができるか楽しみです。



◇富士見小学校で放蝶する意味は

私は放蝶して近くの林でオオムラサキが自生するようになったらよいなと思ったことがあります。最初にお伝えしたように、今の環境は決してオオムラサキにとって住みやすいものではありません。徐々に絶滅に向かっていきます。ですから、ハウスの中でがんばって卵を産んでもらい、「よく、頑張ったね、お疲れ様でした。」の感謝を込めて、最後に広い大空を羽ばたいてもらおうというのが富士見小の放蝶の意味だと考えます。

このように、オオムラサキのおかげで、いろいろなことが考えられました。富士見小学校にとって宝であり、素晴らしい教材です。

卒業生1日先生

6月4日、本校の卒業生で、富士ハートクリニックの医院長相川幸生さんをお迎えし卒業生一日先生の日を行いました。



「きみたちは、どう生きる？」という内容での講話でした。講師からは、「昨日から学ぼう、今日を生きよう、明日を見つめよう」とこどもたちへメッセージが伝えられました。

プール清掃

6月5日、6年生がプール清掃を行いました。こどもたちは、プールの中や、トイレ、更衣室等をデッキブラシやたわしを使って汚れを落とし、あっという間にきれいになりました。安全に楽しく水泳の授業ができるとういです。



5年林間学校

6月18日、19日に5年生が林間学校を行いました。朝霧野外活動センターが利用できなくなり、急な予定の変更もありましたが、学校での活動も楽しめる工夫がされていました。1日目のまなびの森では、富士山2合目の森林の中を歩き、五感で自然を感じながら学びました。学校での、野外炊飯にも挑戦しました。火おこし担当と調理担当に分かれ、協力しておいしいカレーを作りました。キャンドルファイヤーでは、仲間と絆の火と協力の火が点火されると、歌とダンスで盛り上がりました。1日目最後の夜の学校探検も楽しかったようです。2日目は、田貫湖から杵柄養鱒場まで森の中を散策しました。マス釣り体験では、班で協力して、昼食の魚を釣りました。「やってみよう 協力 挑戦 仲間と共に！」のローガンが達成されたすばらしい2日間でした。



【まなびの森】



【マス釣り体験】

コミュニティ愛校活動

6月7日、コミュニティ愛校活動が行われました。南運動場、材ムサキハウス等、普段できない場所の草刈りをしていただきました。また、学校図書館やトイレも清掃していただきました。地域や保護者の方々、少年団で富士見小を利用している他地域の方々等、多くの方にお手伝いいただきました。今年度は、環境整備委員会の方々と事前に役割分担を行い、スムーズに作業ができました。ありがとうございました。

オオムラサキ集会

6月27日、オオムラサキ集会を行いました。運営委員会によるオオムラサキクイズ大会や全校レクリエーション、「とべオオムラサキ」合唱を行いました。また、放蝶をイメージして、風船飛ばしも行いました。

オオムラサキ集会に向けては、オオムラサキ週間中には、オオムラサキコンテストを行ったり各クラスでオオムラサキを描いたりしてきました。



7月の行事予定

- 1(火) 昼礼
- 2(水) 6年租税教室 3年読み聞かせ
ひばり号 富士見読書の日
- 3(木) PTA運営委員会(紙面)
- 4(金) 2年読み聞かせ
- 5(土) オオムラサキ教室
- 7(月) 5年ブックトーク 6年昼話
校納金振替日
- 8(火) 普5日課
- 9(水) 集団下校 1年読み聞かせ
- 10(木) 普5日課
- 11(金) 普5日課 4年ブックトーク
- 15(火) 普4日課 個人面談
- 16(水) 普4日課 個人面談 ひばり号

- 17(木) 普4日課 個人面談
- 18(金) 普4日課 給食終了 6年着衣泳
- 22(火) 特4日課 11:45 下校
こども安全の日
- 23(水) 終業式 特4日課 11:45 下校
【学校司書来校日】3・4・15
【ALT来校日】11
【SC来校日】8
【不登校対策支援員】4・11・18

紙の日プロジェクト

	大岩	富士見ヶ丘/阿幸地/万野	三園平/ひばりが丘
新聞 雑紙	14日	16日	18日
雑誌・雑紙 段ボール	21日	23日	25日